

5. 協議経過（記録）

（1）環境・水省M. Martin KABORE次官は、本計画について次のように述べた。

本計画は、砂漠化防止及び農村の生存の為に重要な計画であり「ブ」国のプライオリティも高く、本計画へ期待している。

（2）環境・水省、水・森林総局（DGEF）総局長M.YAMEOGO Mathicuは、本計画について次の様に述べた。

1）人口増加によって農地拡大、過剰放牧、民生燃料用の薪炭材の伐採等による森林破壊が加速している。

2）「ブ」国では、また農業・牧畜が主産業であるが土地生産力が低下しており、住民の燃料源である薪炭も不足している。

3）以上のような事から「ブ」国では、再植林が重要な課題となっている。

4）これまで1970～1975年に植林計画を試みた。この際、他の国からの援助で州地方苗畑を造ってもらった。当初は、国際的援助も多く、省の森林官が維持管理を実施し、苗畑はうまく機能していた。その結果、植林活動も推進された。その後、住民組織に苗畑を払い下げたが、うまく機能しなくなった。

5）この原因としては、次のことが考えられている。

a）民間組織が苗畑の経営方法がわからず、苗畑での生産が必要と供給のバランスにマッチしていなかった事。

b）民間への払い下げ後に予定していた政府からの補助金配布、技術者の継続的教育、地域住民の啓蒙が予算不足でできなかった事。

6）本計画では、州地方苗畑の改修、技術者の研修の他に、地域住民の啓蒙がより大事であることを認識している。また、これまでの苗畑の運営上の反省に立って、維持管理体制を充分行わなければならないと考えている。

6. 関連資料

1) 土地条件

地理的にはアフリカ南部の内陸部、サハラ砂漠の南西側（北緯9°～15°、西経6°～東経2°）に位置し、北西部をマリ、北東部をニジェール、南東部をベナン、南側をトーゴ・ガーナ・コートジボアールに接している。

一般的に起伏のゆるやかなラテライト土壌のサバンナ平原地帯で、標高最高約700m最低約200m、平均約300mで、国土の北部及び西部が高く、南部が低くなっている。隣国ガーナを流れるヴォルタ川の源流域で3つ（ムーン川・ナジオン川、ナカンベ川）の主要河川が蛇行している。この地理的条件や気象条件等が雨期後半の雨水排水を困難にし、洪水災害を引き起こす主要因とされている。

サバンナ平原の殆どはラテライト性土壌で、性質は水に不溶性の鉄、アルミニウム酸化物が多く残積する紅土（ララローザ）が露呈しており、所々に安山岩質や花崗岩と思われる火山岩、溶岩ドームが点在している。ラテライトは雨水で流出し易い。また、建材の泥ブロックに利用されている。

2) 自然条件

自然条件の特徴は大きく3つに分類される。地理的に西アフリカ内陸部のサバンナ地帯に位置している為、国土の大部分はスーダン型熱帯性気候（雨量900mm以上、1300mm以下）に属し、北部地域はサハラ型熱帯気候（雨量150mm以上、600mm以下）に属し、そして国土中央部はスーダン・サハラ中間型気候（雨量600mm以上、900mm以下）に属している。

雨期（6月～9月）と乾期（10月～5月）に分かれ、雨期と乾期の差が激しく、年間降雨量の90%以上が雨期に降る。最も多い8月には各県とも夕刻から夜半にかけて集中的に降る事が多く200mm以上となっているが、12月～2月の乾期（湿度20%以下が特徴）には降雨量がほとんど記録されない。

乾期には、サハラ砂漠から乾燥風（北東風）ハルマツタンが吹き、最も快適なシーズンとされている。地域により雨期の強風の注意が必要とされる。最も暑いのは4月頃（平均32～33℃）である。

降雨量は、一般に国土の南部にいくほど、増える傾向にある。首都ワガドゥゴは、国土のほぼ中央、標高300mに位置し、降雨量は年間880mmと「ブ」国内では比較的多い。

3) 周辺社会インフラ

(1) 上下水道

本プロジェクト対象サイトでは、井戸（地下水）、湖（ダムも含む）、湧水等を水源としており、水源・水量に問題があるサイトは1カ所（テンコドゴ）であり、少し難がありそうなのが1カ所（ガウア）ある。水質は、飲料に適しているとは見えない。

対象サイト周りに下水処理関係の施設は全くない。地下に浸透させる方法で全ての排水（汚水、雑排水、雨水等）の処理を行っている。

（２）電気・通信事情

本プロジェクト対象サイトの中で、近くまで電線が来ていたのは、1カ所のみであり、全サイトとも、電気・通信インフラは整備されていない。電気代・通信代とも料金は高く、一般庶民の利用度は非常に低い。電気の供給は不足がちで、隣国より輸入している。

（３）道路事情

幹線道路はアスファルト舗装され、準幹線道路ラテライト舗装され、雨期の車輛の通行に支障はないが、これらの道路から脇道に入ると整備がされてなく、雨期の通行が困難となる道が多い。地方苗畑へのアクセス道路もこれと同様の状態である。

（４）既存施設・機材等

全対象サイトにおける既存施設・機材は、崩壊しかけた施設、老朽化が激しい機材ばかりであり、ほとんど使いものにならないため、まともな現有施設・機材は皆無といえる。一部施設を使用しているが、ほとんど崩壊寸前である。

（５）建築関連法規

現在、「ブ」国独自の法規関係はなく、フランスの法規を基準として適宜「ブ」国の環境に適合するよう改良を加え、適用しているとの事。日本の建築基準も適用可能であるとの事であったが、本プロジェクト実施時には、環境・水省より、建設行政担当の社会基盤住宅省に指導を依頼する事になると思われる。

（６）労務事情

地方都市にも、ある程度の熟練労働者は存在する。現地のサブコンは、サイト近くで調達可能だが、技術レベルにばらつきがあると考えられる。地方によっては、首都ワガドゥゴから派遣する必要もあり得るとの事。

一般建築事情は、「小学校建設計画」B/D報告書を参照のこと。また、建設業者は請負金額の規模に応じて以下のようにランク付けされている。

C-1 5,000万CFA以下

C-2 1億CFA以下

C-3 1.5億CFA以下

C-4 1.5億CFA以上

（参考：「小学校建設計画」は、ブルキナ測量会社（CINCAT）、ブルキナ建設会社（ECOBAA）を使用との事。）

(7) 建設資機材調達事情

セメント・鉄筋・鉄骨・金物・塗料等、殆どの工業製品については、フランスを中心とするEU諸国からの輸入に頼っている。鋼製建具は、半製品を輸入し、自国で製品化している。

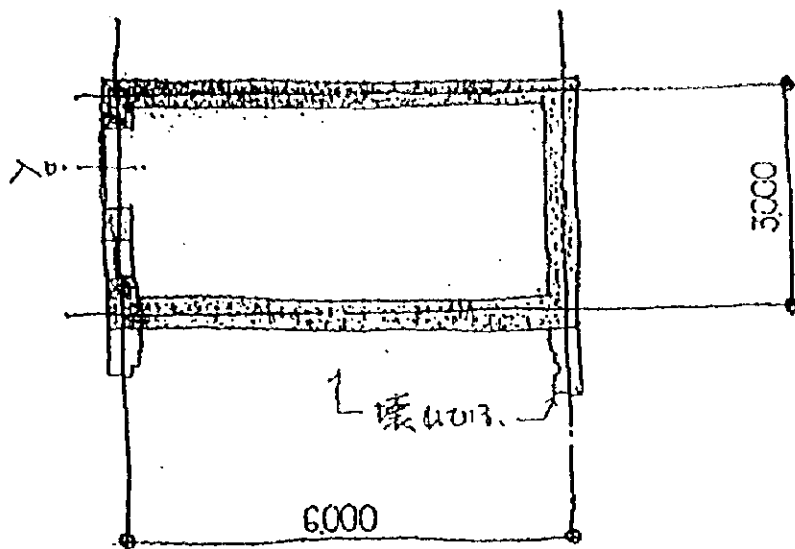
砂・砂利・木材（イギリス、ガーナからの輸入が多いが）煉瓦・コンクリートブロックは、自国で算出している。瓦も自国で生産しているが、小屋組に多くの木材を使うので、高価となり敬遠しているとの事。

7. 収集資料リスト

No.	資料名	筆者 (発行元)	発行年
1	Questionnaire回答 x 10地方	DREEF	1998/10
2	Programme Quinquennal de Reforestation - 1998--2002 -	MEE, DFVAF	1998/01
3	Fiche technique de Proiet Front de Terre	MEE, DFVAF	-
4	Note de Synthese sur Le Programme National de Gestion des Terroirs	MEE, DFVAF	-
5	Rapport Final - Programme National de Foresterie Villageoise "8000 Villages 8000 Forêts "	M. YAMEOGO (FAO)	1997/08
6	Loi portant Code de l'Environnement au Burkina Faso	-	1997/01
7	Rapport Annual des Activites de la DREEF/CN 1997	DREEF/CN	1998/01
8	Rapport d'Activites de l'annee 1997 de la DREEF/C	DREEF/C	1998/03
9	Rapport Annuel d'activites 1997	DREEF/N	1998/02
10	Presentation de la Direction Regionale du Nord	DREEF/E	1998/10
11	Bilan du Suivi des Plantations Effectuees en avril 1998	DREEF/CN	1998/04
12	Projet de Rehabilitation de la Pepiniere de Salbisgo	DREEF/B.M.	1998/02
13	Budget-Programme 1999-2001 Region de la Boucle du Mouhoun	DREEF/CO	1998/01

8. 既存施設見取り図

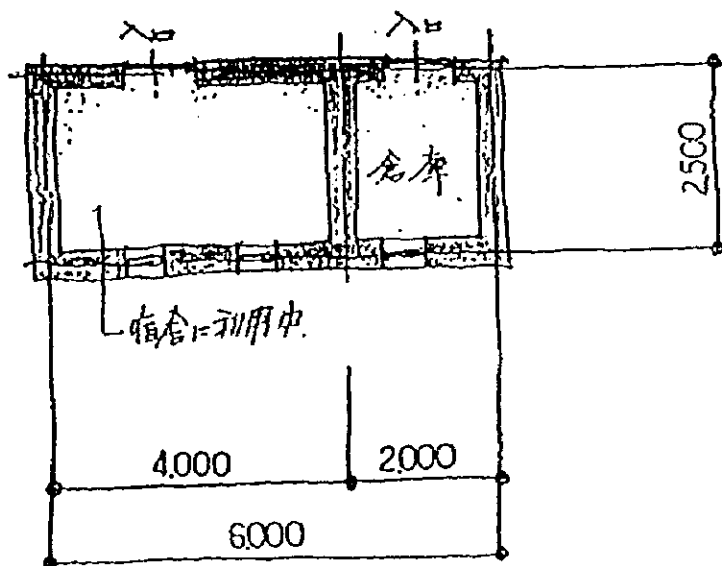
1 DORI



※半寮には、残った部分を
倉庫として使用する。

18.0 m²

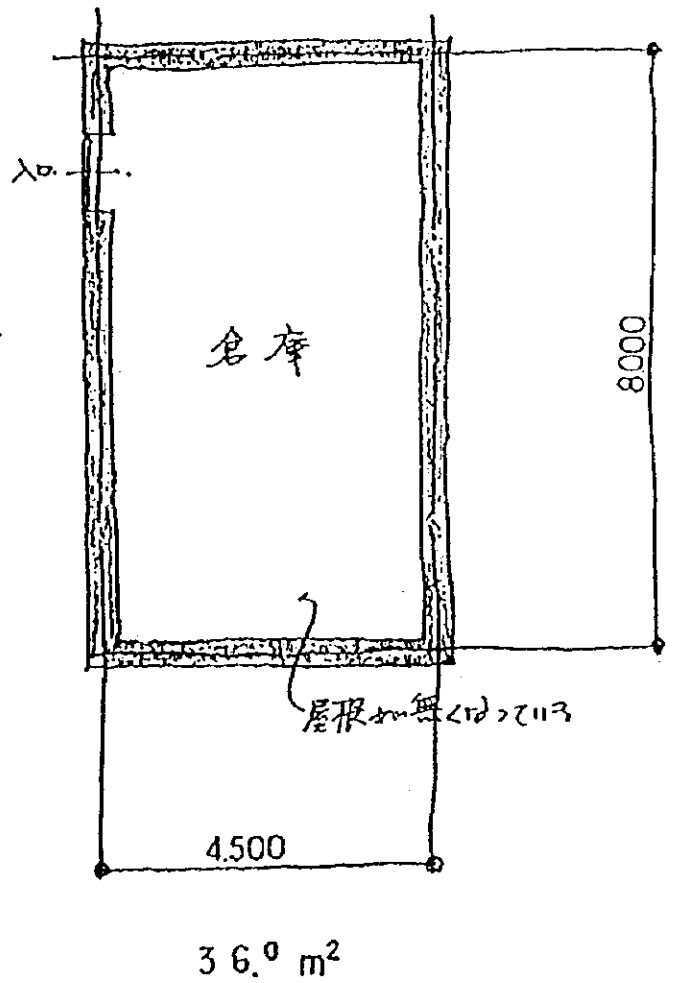
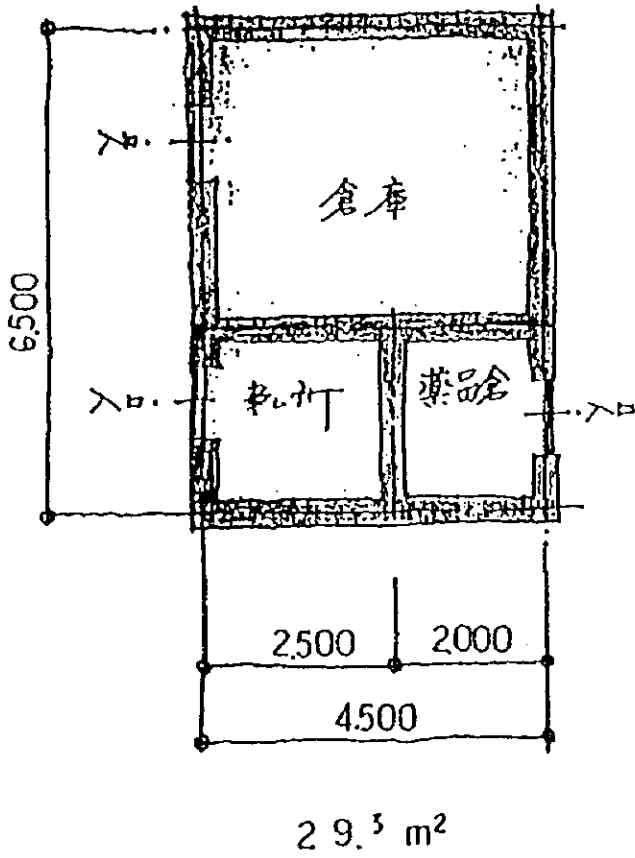
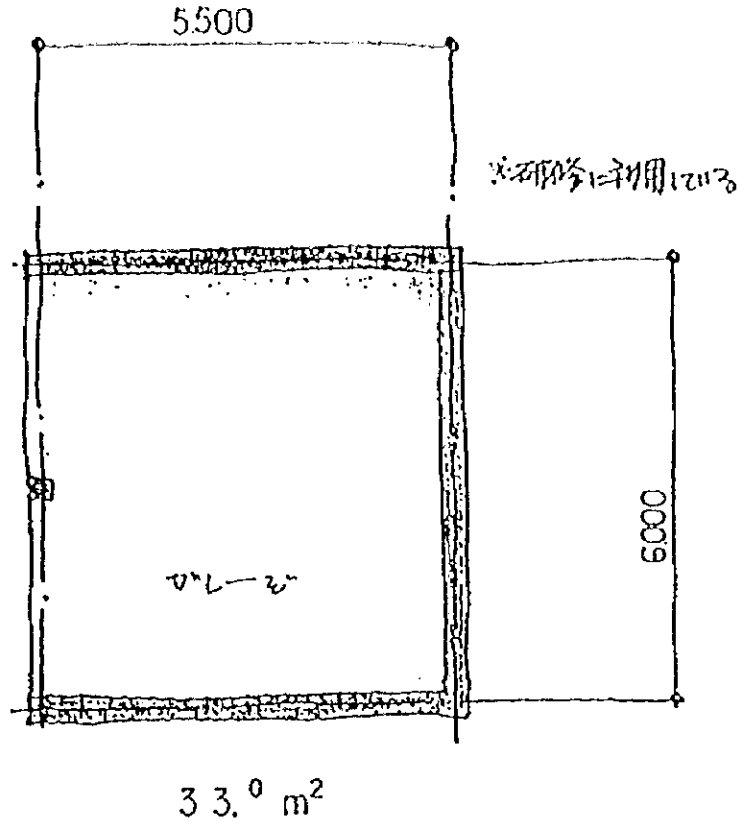
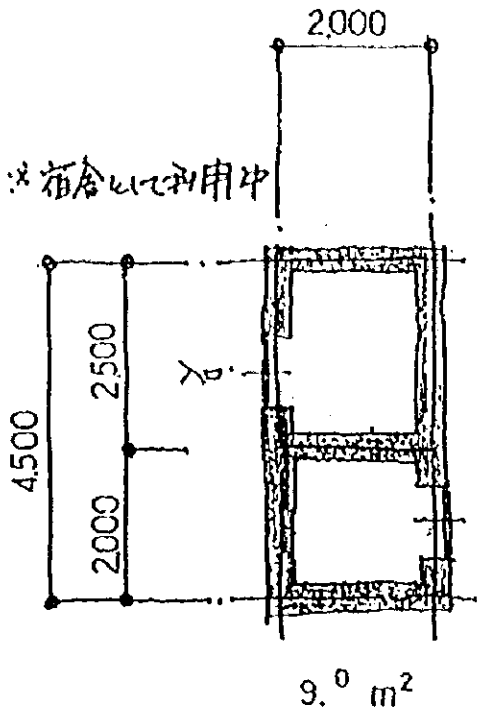
2 KAYA



15.0 m²

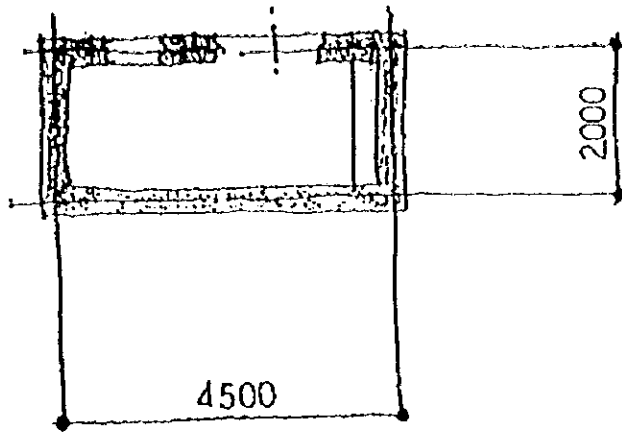
※寸法は全て目算程度である。

3 OUAGADOUGOU



※ 研砕機として利用中

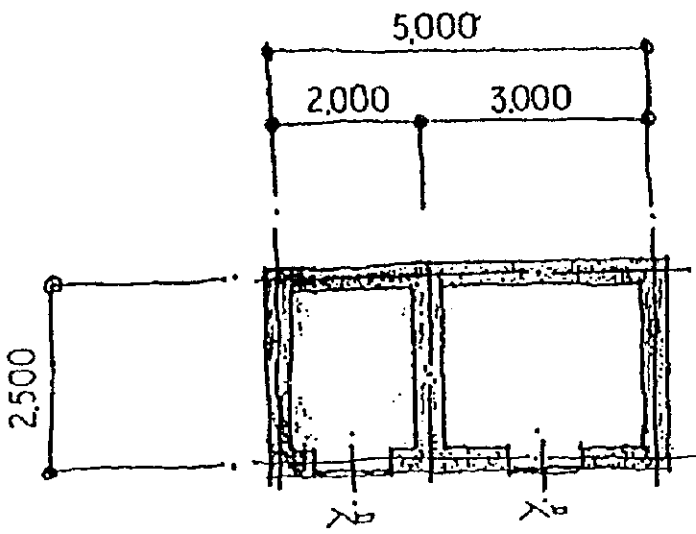
4 OUAHIGOUYA



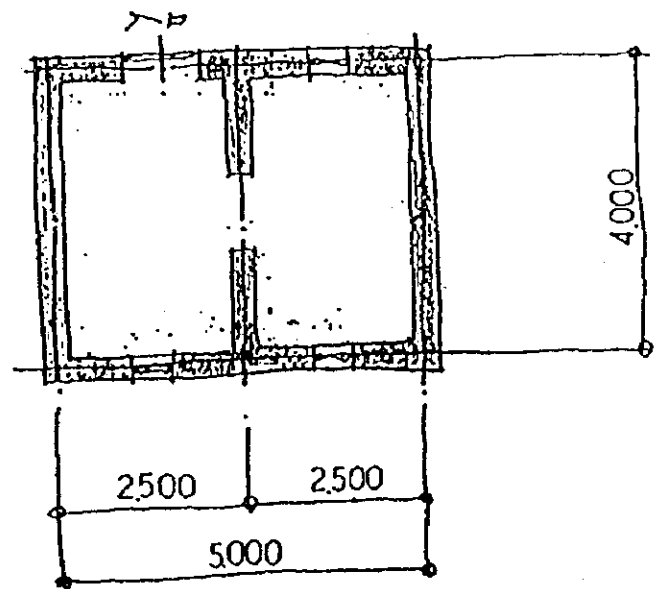
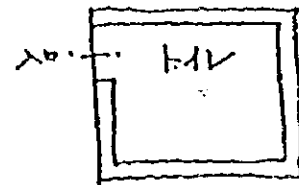
* 屋根なし、建具なし。

9.0 m²

5 BOBO-DIOULASSO



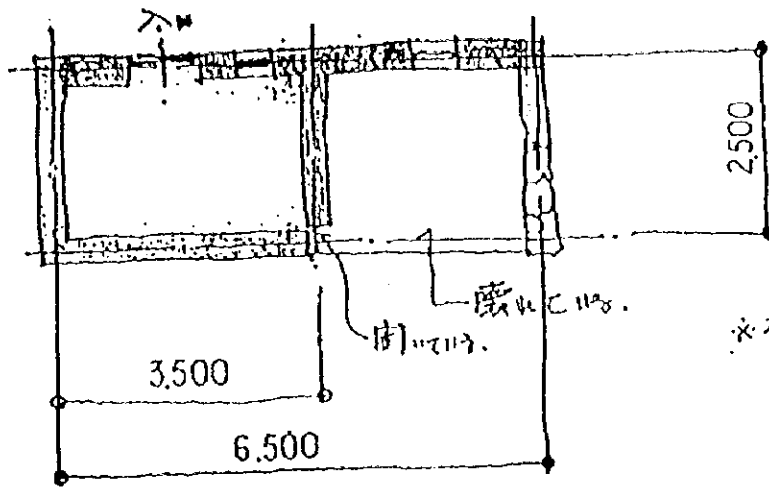
12.5 m²



20.0 m²

* 寸法は合算程度あり。

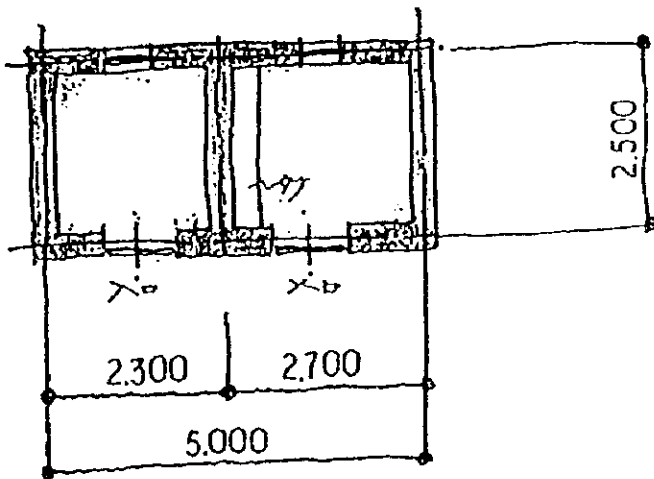
7 KOUDOUGOU



8.8 m^2 (16.3 m^2)

8 FADA N'GOURMA

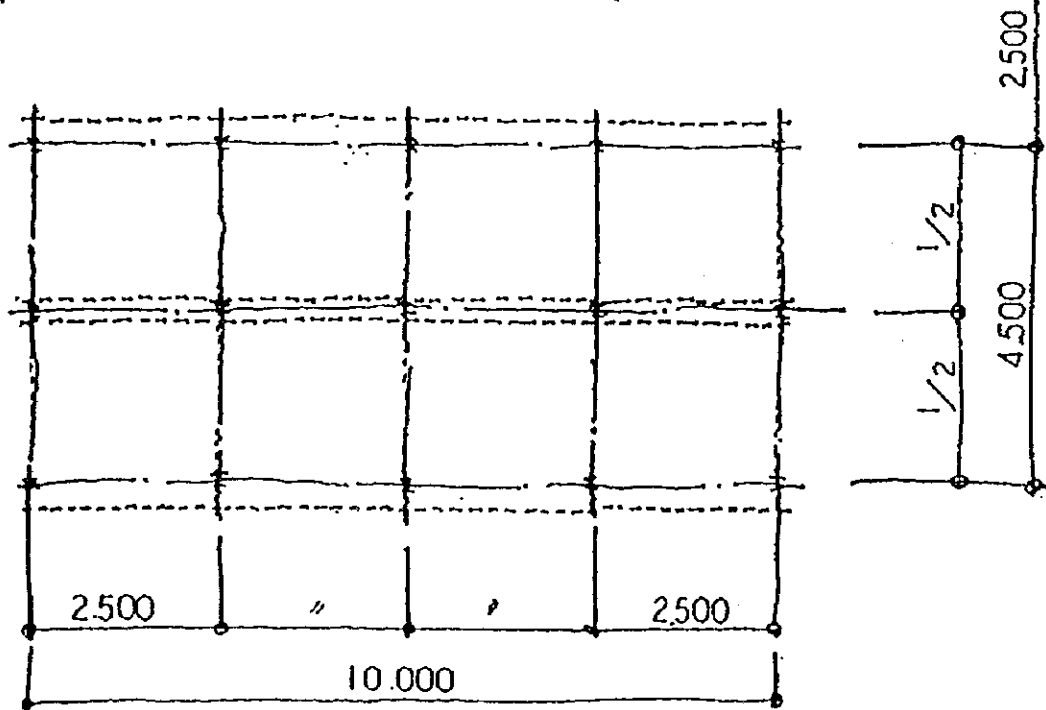
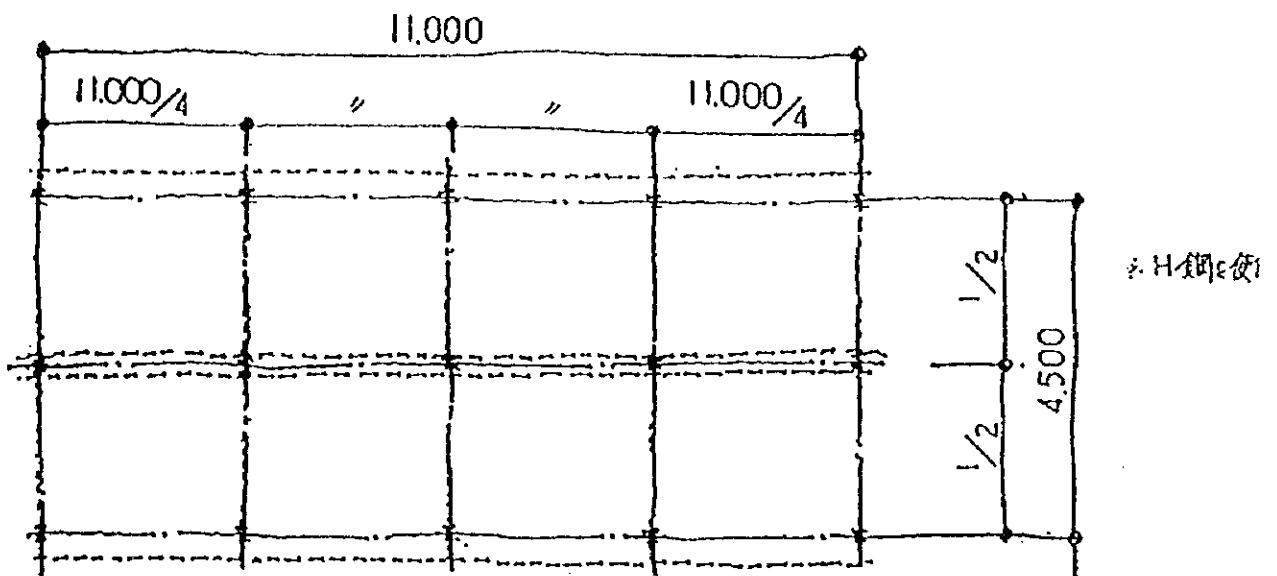
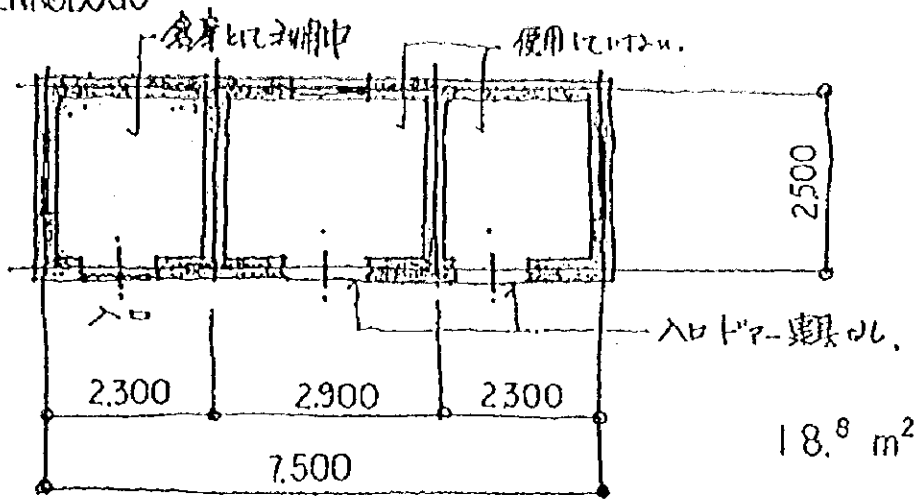
10/317



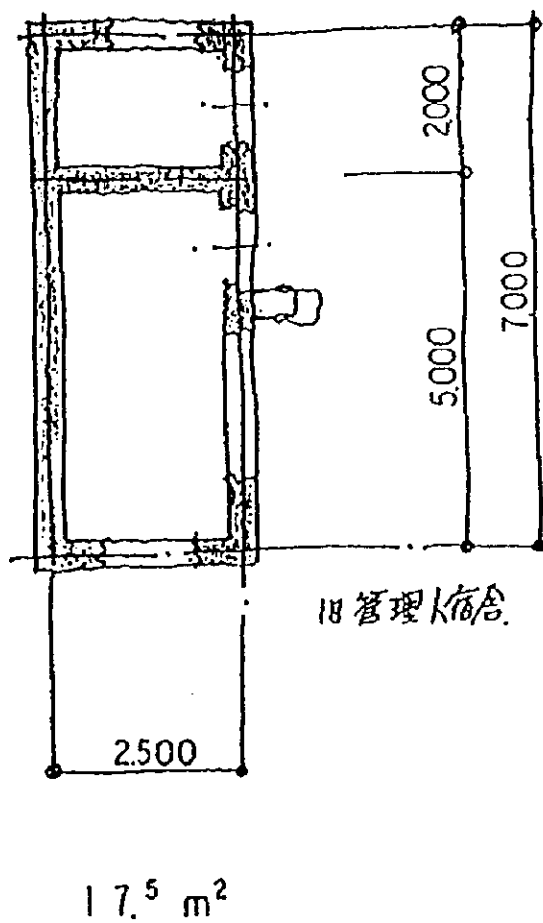
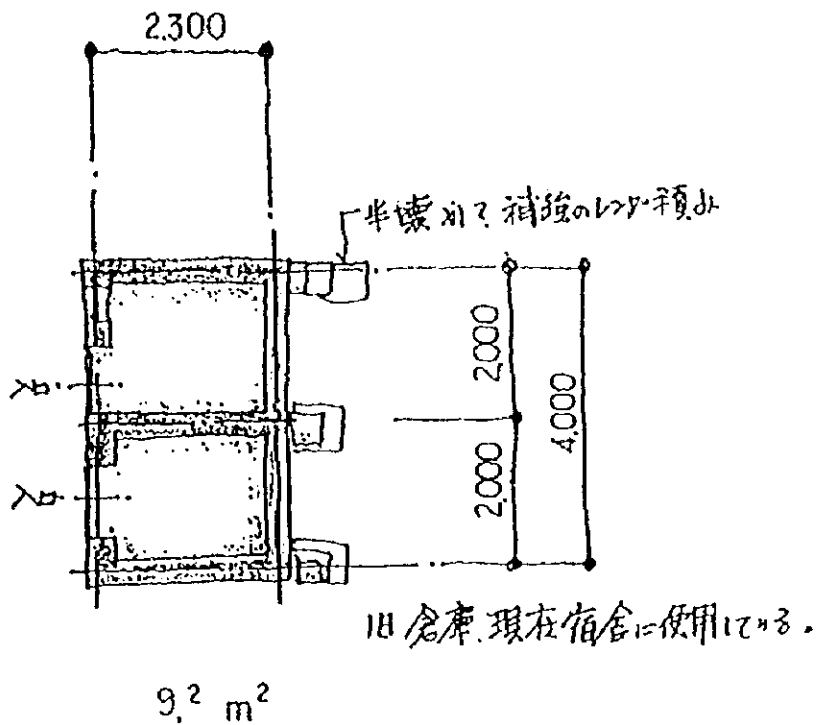
12.5 m^2

* 手法は全計算機による。

9 TENKODOGO



* 寸法は全計算機による。



* 原産と合ってる. (建築仕様は不明)

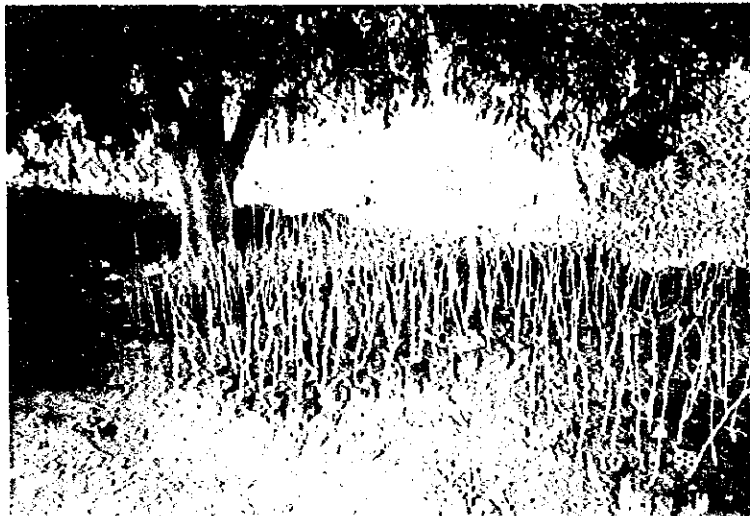
* 正確に全土算積算してる.

ブルキナ・ファソ地方苗畑改修計画

写真集



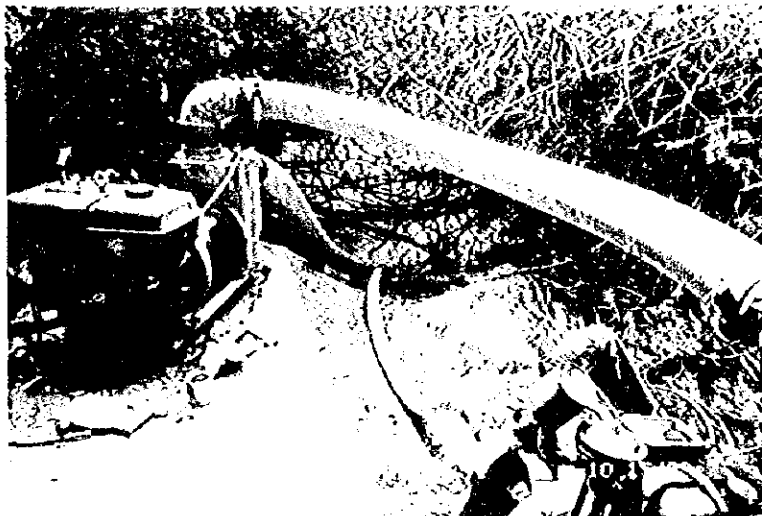
1-1. ワガドゥグ地方苗畑
苗畑門扉。破損しており、扉の用をな
していない。



1-2. ワガドゥグ地方苗畑
苗畑内、ポット育苗



1-3. ワガドゥグ地方苗畑
苗畑敷地外にある湖（苗木生産用水源）。



1-4. ワガドゥグ地方苗畑
吸水用ポンプ。年式が古く、故障がちである。



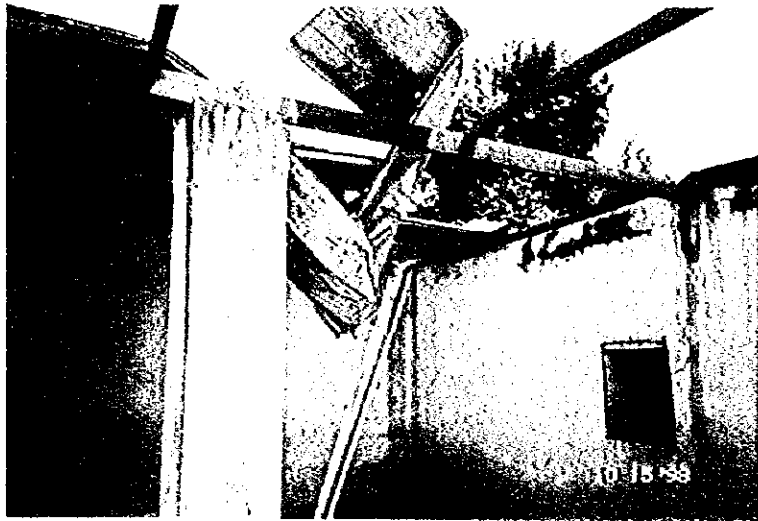
1-5. ワガドゥグ地方苗畑
苗畑内、倉庫。



1-6. ワガドゥグ地方苗畑
倉庫内、現有機材。機材数は少なく、また、ほとんど使用不能である。



1-7. ワガドゥグ地方苗畑
倉庫並びにガレージ（写真奥）。



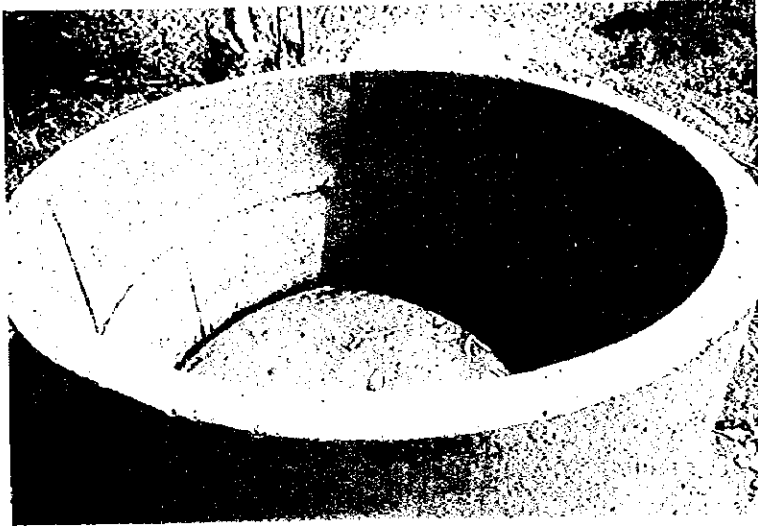
1-8. ワガドゥグ地方苗畑
ガレージ屋根。損傷が激しい。



2-1. カヤ地方苗畑
苗木生産状況。



2-2. カヤ地方苗畑
苗畑内、貯水槽。



2-3. カヤ地方苗畑
同上。



2-4. カヤ地方苗畑
井口および手動式ポンプ。



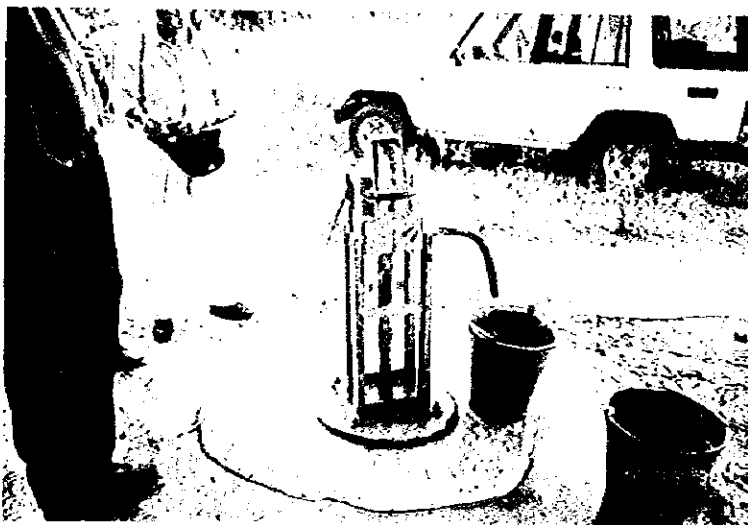
3-1. 下り地方苗畑

苗木生産状況。生産時期外（生産時期は大概3月～8月）のため、育苗中のポットは少なく、残骸整理もされていない。



3-2. 下り地方苗畑

苗畑内、井戸、ポンプ、貯水槽。ポンプは、使用可能である。



3-3. 下り地方苗畑

ハンドポンプ。



3-4. 下り地方苗畑

苗畑敷地外にある池。現状、水源として利用していないが、活用も可能。
手前は、苗畑のフェンス。壊れかけている。



3-5. 下り地方苗畑

既存倉庫。



3-6. 下り地方苗畑

倉庫内、機材。ほとんど使用不可。



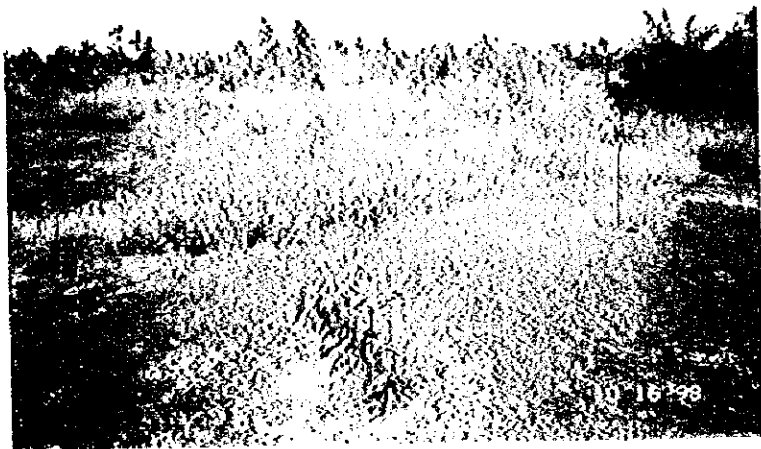
4-1. ウアイグーヤ地方苗畑
井戸、手動ポンプおよび貯水槽。



4-2. ウアイグーヤ地方苗畑
井戸内部。現状、水量は常時ある。



4-3. ウアイグーヤ地方苗畑
苗木生産状況。ただし、この時（10/16）
は、生産時期外。



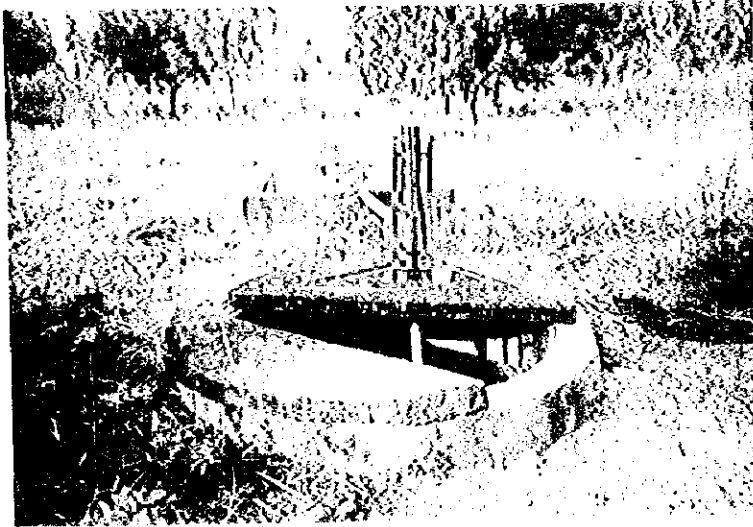
4-1. ウアイグーヤ植栽地 (18ha)
地方苗圃で生産した苗木の植栽地地域
住民が組織（アソシエーション）を作
り、共同管理している。



5-1. ドゥドゥグ地方苗圃
旧倉庫で現在宿舎に利用。外壁の崩れ
を煉瓦積みで補強している。

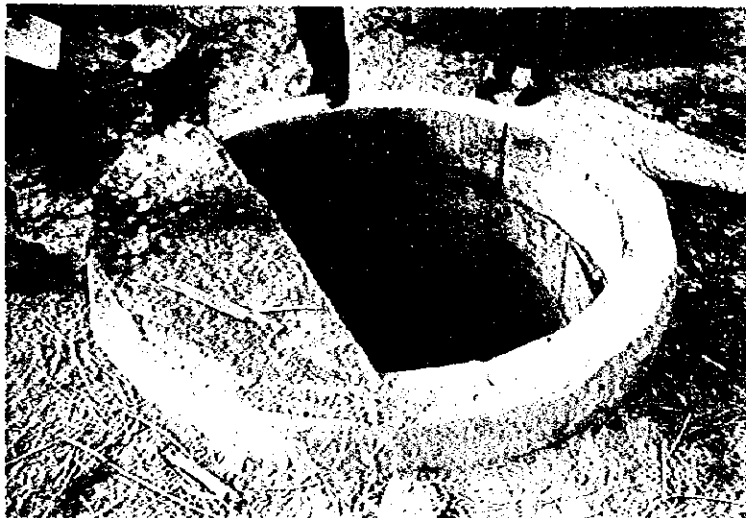


5-2. ドゥドゥグ地方苗圃
水源の一つの井戸。木製梁を設置しゴ
ム製桶を利用したつるべ式



6-1. クードゥガー地方苗畑

井戸、ハンドポンプおよび貯水槽。
井戸並びに貯水槽は苗畑内、合計4つあり、水量は年中確保されている。



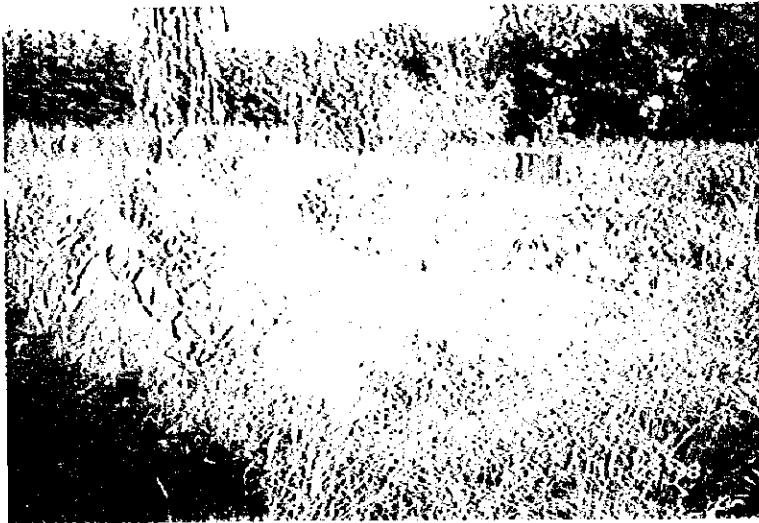
6-2. クードゥガー地方苗畑

以前は、ポンプを使用していたが、故障により、手汲みを行っている。



6-3. クードゥガー地方苗畑

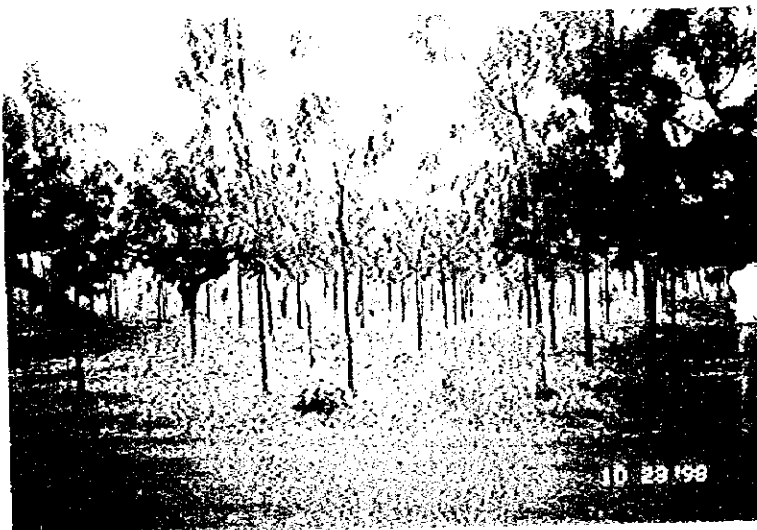
苗木生産後の残滓。



6-4. クードゥガー地方苗畑
苗畑状況。



6-5. クードゥガー地方苗畑
敷地外にある倉庫残骸。



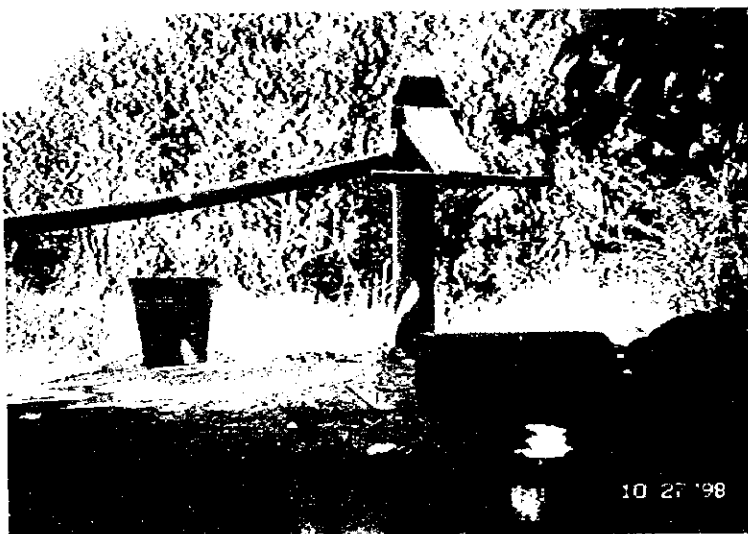
6-6. クードゥガー植栽地
村存林であり、約12ha、植林後約7年経
過したニーム。



7-1. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
苗畑フェンス。応急処理で対応している。



7-2. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
井戸（中央奥）。



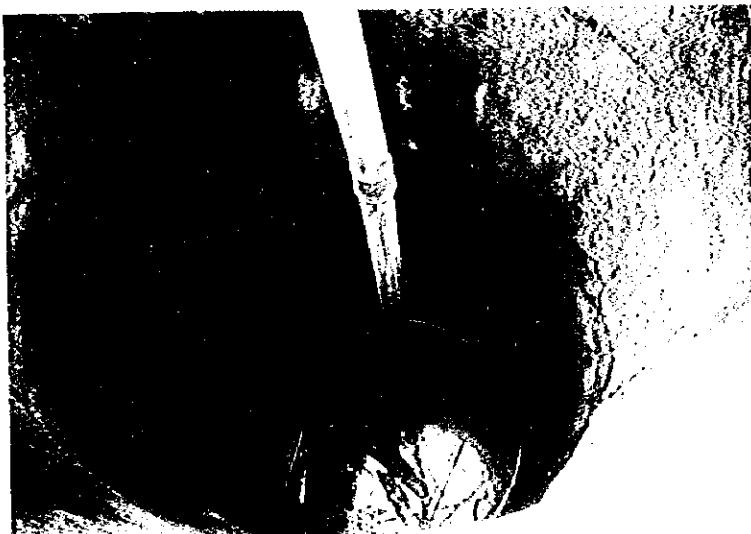
7-3. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
ハンドポンプ。ポンプから直接パイプ
が取り付けられており、苗畑へ配水さ
れる。



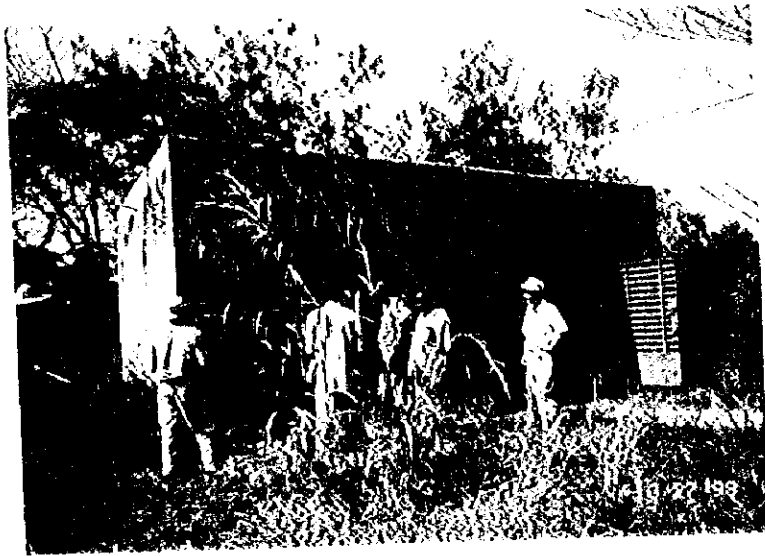
7-4. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
苗畑おまびパイプ先端（右奥）。
井口から汲み上げられた水はパイプを
通り、ドラム缶に溜められている。



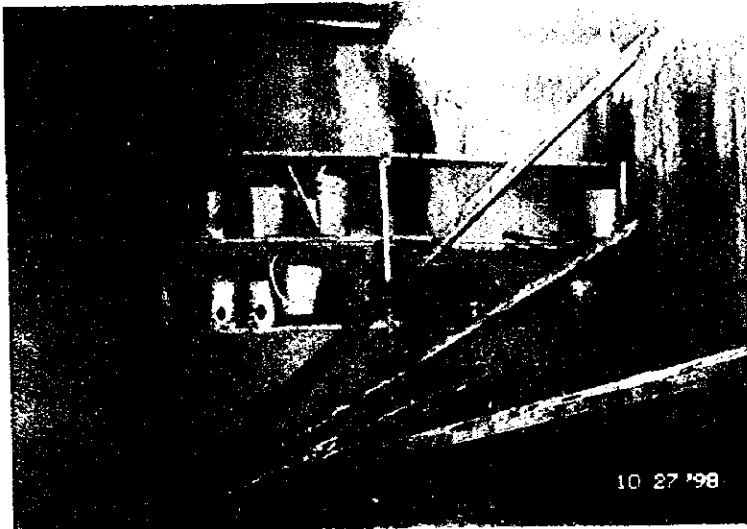
7-5. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
風車利用井口。



7-6. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
同上内部。



7-7. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
倉庫。



7-8. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
倉庫内部。



7-9. ファダ・ヌグールマ地方苗畑
ポット育苗状況。



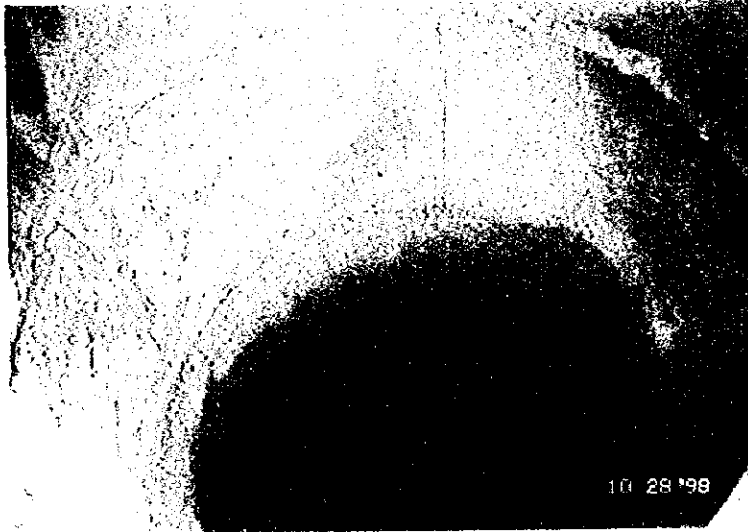
7-10. ワッダ・ヌグールマ植栽地
1992年から植栽。現在、25ha植林済み。
ユーカリ、マンゴ一等の果樹を混植し
ている。



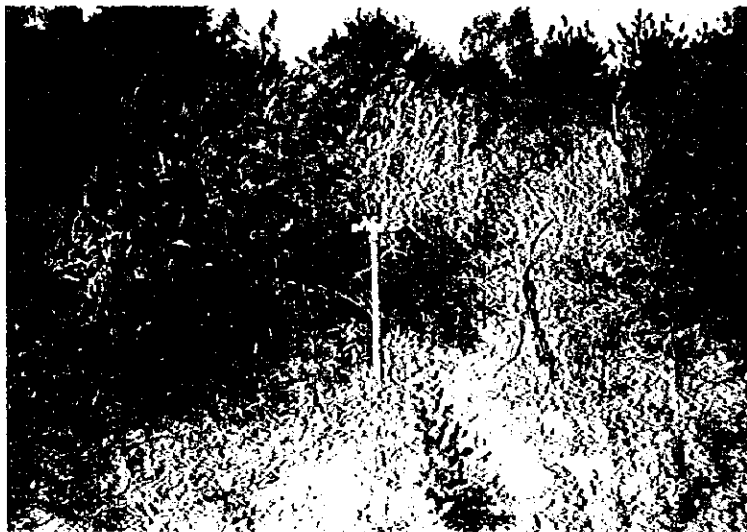
8-1. テンコドゴ地方苗畑
苗畑入り口および高架水槽。



8-2. テンコドゴ地方苗畑
苗畑敷地外にある水源湖。ここからボ
ンプアップして、高架水槽に水を溜め
る。



8-3. テンコドゴ地方苗畑
苗畑内、井戸内部。時期により枯渴する。



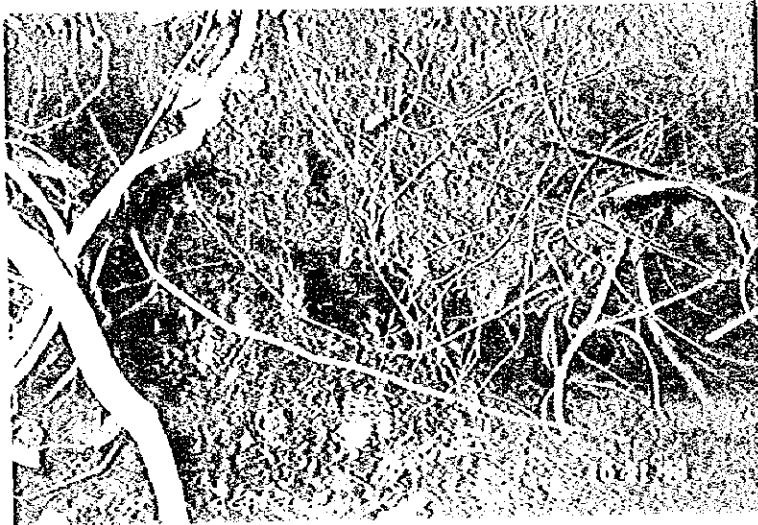
8-4. テンコドゴ地方苗畑
高架水槽より配管されている散水用蛇口。



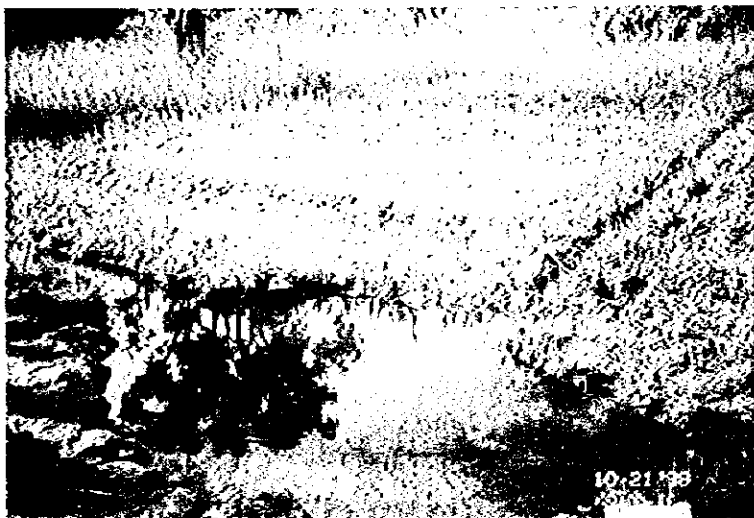
8-5. テンコドゴ地方苗畑
ポット育苗状況と鉄骨枠組。



8-6. テンコトコ地方苗畑
ボット育苗状況。



9-1. ボボ・ディオラッソ地方苗畑
苗畑水源の湧水地（苗畑敷地外）。



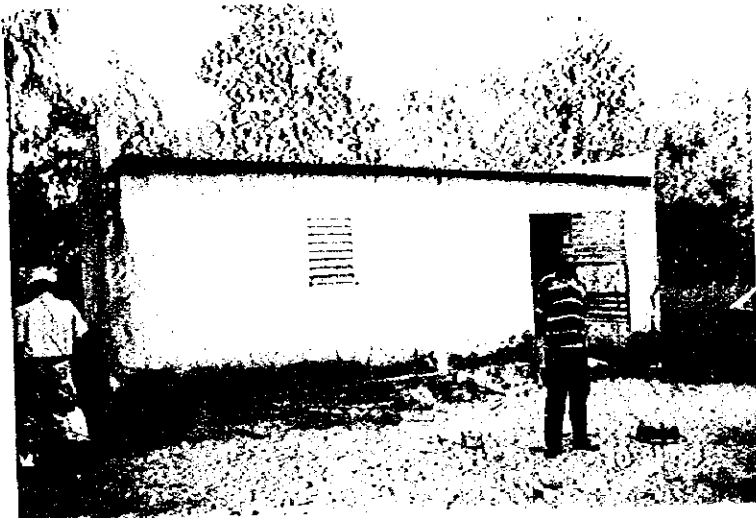
9-2. ボボ・ディオラッソ地方苗畑
湧水地から水路が引かれており、苗畑
に重力流水されている。



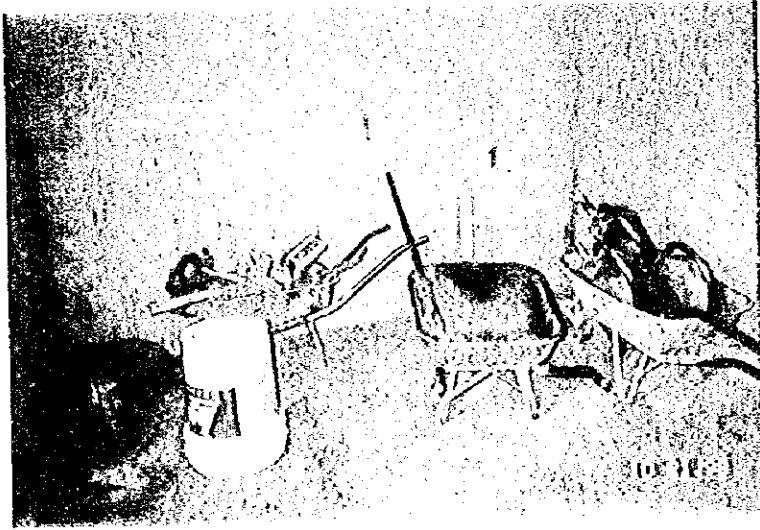
9.3. ボボ・ディウラッソ地方苗畑
水路途中にある貯水槽。



9.4. ボボ・ディウラッソ地方苗畑
ポット育苗生産状況。



9.5. ボボ・ディウラッソ地方苗畑
苗畑敷地のすぐ横にある倉庫。



9-6. ボボ・ディオラッソ地方苗畑
倉庫内、機材。



9-7. ボボ・ディオラッソ地方苗畑
倉庫の脇にある守衛住居。



9-8. ボボ・ディオラッソ植栽地
国有林、ユーカリ6年栽。
植林後、3年間は、地域住民に樹間地利
用を認めると共に、ユーカリ幼木の管
理を委託していた。



10-1. ガウア環境・水・森林地方総局
地方総局事務所。



10-2. ガウア地方苗畑
苗畑、井戸および貯水槽。



10-3. ガウア地方苗畑
井戸内部。4～5月は水量が減る。



10-1. ガウア植栽地

村有地2ha。8,000村8,000林計画に則って設置された、チーク、ユーカリ等が植えられている。



10-5. ガウア村落レベル小規模苗畑

民営化の促進に伴い、各地に設置されつつある村落苗畑の一つ。植栽地のそばにある。



10-6. ガウア村落レベル小規模苗畑

同上

ブルキナファソ地方苗畑改修計画 予備調査

参考資料

1999年3月

コメント

ブルキナファソ国地方苗畑改修計画予備調査については、1998年10月7日～11月4日まで現地調査が実施され、1999年3月「ブルキナファソ国地方苗畑改修計画予備調査報告書」を取りまとめた。

このとりまとめに当たっては、現地調査終了後の1999年2月に「ブ」国環境・水省より送付されてきた、現地調査時の一部未回収部分を含む FADA N'GOURMA 地方苗畑についての質問票に対する回答内容は、下記のような疑問が残り、報告書での記述は適当でないと考えられるため、本参考資料として別冊整理することとした。

1. FADA N'GOURMA 地方苗畑の苗木生産実績が1998年約63万本、1997年約70万本、1996年約32万本、1995年約55万本、1994年約31万本と記述されているが、現地を調査したJICS団員によると現地 FADA N'GOURMA 地方苗畑での地方苗畑側からの聞き取り調査の際は、1998年は地方総局予算の不足により地方苗畑としては苗木生産ができず、地域住民が土地を借りて約6千本の苗木生産を実施しただけとのコメントを得たと述べ、1997年以前の苗木生産についても、数十万本規模の生産実績のコメントは地方苗畑側からは無かったと述べている。
2. 調査を実施したJICS団員は、今回調査対象の他地方苗畑の生産実績（最大でも8万5千本）と比較しても、FADA N'GOURMA 地方苗畑の現況は、他の地方苗畑の現況と比較して数段の苗木生産力を有しているとは考えられないと述べている。

以上

質問表に対する回答要点

A. 全てのサイトに共通な事項

1. 本要請の背景と実施機関

1.3 地域圏行政府が地方の苗畑を管轄します。

1) 東部地域では、地域圏行政府の村落森林管理機関が苗木の生産に結び付いた全ての問題を担当します。この機関は地域圏行政府の森林種子管理出張所の支援を受けます。

2) この機関は、村落森林担当の県の管理支部(地域圏が含む5 県の5 支部)の責任者と密接に協力して作業する要員(森林と苗畑の監督者)を含みます。

4) 予算

地域圏管理局が国家予算の支援を受けることになったのは1998年です。この年に270 万を受け、それを出費しました。

森林、動物相及び漁労による収入として、地域圏管理局は下記を受けました。

- 1996年に167,169,950 F
- 1997年に160,070,500 F
- 1998年9月30日現在で132,630,900 F。

1.4 プロジェクト達成後の運営・実施機関

1) 運営機関は東部地域圏環境・水・森林管理局です。

2) プロジェクトの内容

年間植林面積 1000 ha

6) 生産された苗木の配布・流通回路

生産された苗木はプロジェクト、NGO、住民に販売されます。

これらの苗木はある種のユーザーには無料で与えられます。一般的な規則はないので、様々な状況が検討されることとなります。研修プログラムは森林要員と民間の苗畑事業者を対象にしています。下記の課目が展開されます。

要員レベル

- 苗畑の整備
- 接ぎ木技術
- 植物生理学
- 堆肥の作り方

苗畑事業者(民間苗畑事業者)

- 苗木の生産技術
- 接ぎ木技術
- 堆肥

その他の課題は土地に生じる制約や困難に応じて定められます。

3. 自然条件

主な苗圃地区の雨量推移(単位ミリメートル)

Tableau Evolution de la pluviométrie des principaux postes en millimètre:

	poste 地区	1991/92	1992/93	1993/94	1994/95	1995/96	avant 1979	1972-86
GOURMA グールマ	Diabo <small>ディアボ</small>	1 124	591	676	1 291	743	1 060	800
	Fada <small>ファダ</small>	1 017	890	860	1 120	933	910	771
GNAGNA ニャニャ	Bilanga <small>ビルランガ</small>	640	672	620	811	606		
	Bogandé <small>ボガンデ</small>	553	589	444	740	663	680	539
	Liptougou <small>リプトウグ</small>	284	520	513	486	228		
TAPOA タポア	Diapaga <small>ディアパガ</small>	622	817	670	1 344	243	890	714
	Kantchari <small>カンチャリ</small>	691	778	655	1 267	318		
	Mahadaga <small>マハダガ</small>	756	569	620	1 162	193		
	Namounou <small>ナムヌヌ</small>	696	804	645	1 425	242		

Source : DRA/EST

出所: DRA/ 東部

B. サイトの要点

2 地域圏苗圃の概要

- 1) 実施される主な活動は苗木の生産と研修活動です。
- 2) と3) 地域圏管理機関の組織図と要員リストは付録として添付されています。
- 4) 予算(Aの1.3 項参照)
- 5) - 7) 指摘された諸種地図を持ちませんし、その実現には時間と手段が必要です。

3. プロジェクトの説明

この5 年間における苗木の生産量は地域圏苗圃により得られたものですが、他方、特に村落苗圃によっても与えられました。下記の表は過去5 年間に記録された生産量です。

期間	実績生産量(苗木の本数)
1993 -1994	311,250
1994 -1995	545,687
1995 -1996	318,127
1996 -1997	698,620
1997 -1998	627,866

2) と4) (表3 と5 を参照)

4. 地域圏別の苗畑面積

東部地域圏は面積50,000km²にわたり、5 県(グールマ、ニャニャ、タボア、コンピエンガ、コモニディエイシ(?))、701 村落、住民数865,000 人を含みます。

5. 苗木の流通回路 (A の1.3 - 6)を参照)

6. 苗木の生産方法

7. 地域圏苗畑の土地

地域圏苗畑は現在 本の井戸を持っている。

8. 社会インフラの整備状況

9. 施設と機材

9.1 施設

- 1) 事務所: なし
- 2) 倉庫: m²、 年に建設
- 3) 自動車修理工場: なし
- 4) 休憩所のスペース: なし
- 5) なし
- 7)、8)、9)、10) なし

9.2 設備と機材

- 1) なし
- 2) 表 8を参照

10. 施設と機材の保守と運営・管理

新規施設の運営・管理と保守は、最初の内は苗畑管理機関により行われます。その後は、この国で行われている分権化の過程を考慮して、担当の機構を設置することが出来る。

11.

12. 本プロジェクトと地域圏住民との関係

1) 住民の意識向上にアクセントを置いた様々なプロジェクトの実施と相まって、植林活動は住民が行う活動にとって不可欠な部分です。

2) 住民は自分達の果物、用材、薬品に対する需要を満たすためその他の活動も行うことが出来ます。

3) いいえ

4) いいえ

5)

6) 苗木生産の需要を更に良く満たすためには補足生産を行うこと。

13. 農業従事者の組織

1) 自然林又は人工林の保守を行うため組織化されたグループが存在します。

地方苗圃のための苗木生産用器材リスト

	名称	数量
苗木	ビニールパイプ	200 m
	スプリンクラー	5 台
	散水機	2 台
	シャベル	10 個
	手押し車	6 台
	鍬(ホー)	5 個
	熊手(レーキ)	10 個
	つるはし	10 個
	じょーろ	8 個
	金網ローラー	25 m のローラー40個
	剪定はさみ	10 個
	大型ふるい	2 個
	つきのみ	4 個
	ばけつ	8 個
	ジェフォワール(?)	5 個
	マテューテ(作物等伐採用大なた)	5 個
	50m のメートル巻き尺	2 個
	発芽槽	6 個
	ひも	100 m
	鉢	P.M
輸送機材	トラック	1 台
	小型トラック(Pick-Up)	1 台
	バイク	1 台
その他	白板	1 枚
	ファクシミリ	1 台
	小型事務機	P.M

表2 苗木の生産量
 Tableau-2 Production des Plants
 生産年 (Année de production: 1996)

1996年

Nom de la Pépinière	樹種の名前 Nom des Essences	Production annuelle des Plants (en nombre)	Superficie de Planches utilisées (en m ²)
OUAGADOUGOU ウアガドゥグー		苗木の年間生産量 (本数)	併用された苗 畑の面積 (単位 m ²)
KAYA カヤ			
DORI ドリ			
OUGAHIGOUYA ウガイグーヤ			
DEDOUGOU デドゥグー			
KOUDOUGOU クドゥグー			
FADA N'GOURMA カダングールマ		1994: 311252 1995: 545682 1996: 318197 1997: 698670 1998: 627266	
TENKODOGO テレコドゴ			
BOBO DIULASSO ボボディウラッソ			
GAOUA ガウア			

表3 苗木生産量の予測

Tableau-3 Estimation de la Production des Plants

必要の苗木
面積 (m²)

苗圃の名称

Nom de la Pépinière	樹種の名称 Nom des Essences	Estimation en nombre de la Production annuelle des Plants	Superficie de Planches requises (m ²)
OUAGADOUGOU ウアガドゥグー		苗木の年間生産本 数の予測	
KAYA カヤ			
DORI ドリ			
OUGAHIGOUYA ウガイグーヤ			
DEDOUGOU デドゥグー			
KOUDOUGOU クドゥグー			
FADA N'GOURMA ファダングーラマ	<i>Dorstenia ligularis</i> <i>Acacia robusta</i> <i>Acacia robusta</i> <i>Ficus sp.</i> <i>Acacia robusta</i>)	
TENKODOGO テンコドゴ ファダングーラマ	<i>Dorstenia ligularis</i> <i>Delonix regia</i> <i>Cassia acuminata</i> <i>Gmelina arborea</i> <i>Plumbago indica</i>		> 20000
BOBO-DIOULASSO ボボディウラッソ ファダングーラマ	<i>Acacia robusta</i> <i>Cassia acuminata</i> <i>Cassia guineensis</i>)	
GAOUA ガウア			

(ラテン語) 学術者には
読取可能

表5 Tableau-5 Superficie de Terrain à Reboiser par an 1年当り植林すべき土地の面積

Nom du Site	樹種の名前 Nom des Essences	Superficie de Terrain à Reboiser par an (en ha)	Quantité en nombre des Plants requis
OUAGADOUGOU ウイガドゥグー		1年間に植林すべき土地の面積 (ha)	必要苗木の本数
— 小計			
Total provisoire			
KAYA カヤ			
Total provisoire			
DORI ドリ			
Total provisoire			
OUGAHIGOUYA ウザイグーヤ			
Total provisoire			
DEDOUGOU デドゥグー			
Total provisoire			
KOUDOUGOU クドゥグー			
Total provisoire			
FADA N'GOURMA ファダングールマ			
Total provisoire		1,000 ha / 年 年間 1,000 ha	
TENKODOGO テレコドゴ			
Total provisoire			
BOBO DIOULASSO ボボディオゥラッソ			
Total provisoire			
GAOUA ガアア			
Total provisoire			
Total			

表 6 整備の内容

サイトの名称	苗畑の名称	整備事項と施設の大きさ数量	新規建設/ 拡張/ 改修
		- 燃料ポンプ - PVC パイプの再取り付け - 倉庫の改修 - 事務所の建設 - 苗畑の開い	

表 7 現行設備と機材: 内容、技術仕様、数量

サイトの名称	設備と機材の名称	現行設備と機材の種類と仕様	メーカーの名称	数量	作動状態(良好/ 普通/ 故障)
		- 大口径ポンプ		2台	良好
		- 手動ポンプ		1台	良好
		- 燃料ポンプ		1台	故障
		- 倉庫		1棟	修理中
		- 貯水槽		2基	良好
		- 発芽槽		6基	

表 11 各苗畑の研修プログラム
(苗畑の名称:)

1 研修項目	2 研修内容	3 受益者 (職種、部署)	4 受益者の総数	
A 苗木の生産技術	-	要員、苗畑事業者	要員 70名	苗畑事業者 250名
B 植物生理学	-	要員	要員 70名	
C 苗畑の整備		要員	要員 70名	
D 接ぎ木の技術		要員、苗畑事業者	要員 70名	苗畑事業者 250名
E 堆肥の作り方		要員、苗畑事業者	要員 70名	苗畑事業者 250名

5 受益者の総数	6 研修別出席者数	7 研修別の日数	8 年間の研修実施数	9 年間の受益者数
A		6日		
B		3日		
C		3日		
D		3日		
E		3日		

注: 苗畑別に表を作成してください。

表 12 各苗畑に配分される年間研修プログラム
(苗畑の名称:)

研修課目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A													
B													
C													
D													
E													

JICA